

リンドウ早生品種「ふくしまみやび」の品質を高める 肥効調節型肥料を用いた施肥法

福島県農業総合センター 会津地域研究所

1 部門名

花き—リンドウ—施肥法

2 担当者

大竹真紀・鈴木宏和・芳賀紀之

3 要旨

リンドウ「ふくしまみやび」は草丈が伸びにくいいため、品質を高める肥効調節型肥料の利用について検討した結果、窒素吸収の実態にあった肥効調節型肥料を利用すれば、標準窒素施用量(10kg/10a)から2割程度減肥しても、品質の高い切り花を生産できることを明らかにした。

- (1) 側芽発生期以降に窒素を一定量溶出する肥効調節型肥料(エムコートL30+エムコートS60H=6:4)を使用した。
- (2) 草丈は、側芽発生期から着蕾期にかけて大きく伸長し、窒素吸収量は開花期まで増加する(図1)。
- (3) 窒素施用量6kg、8kg、10kgで生育を比較すると、施用量が多いと茎立数は増え、1本あたりの生育が小さくなる傾向がみられる(表1)。
- (4) 開花時の規格割合は、10kg区では上位規格のものが減少する傾向が見られる。上位規格の茎数を確保するためには8kg/10a程度がよい(図2)。

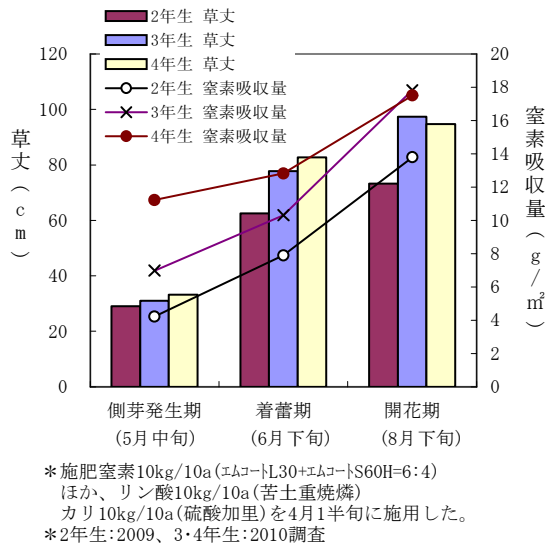
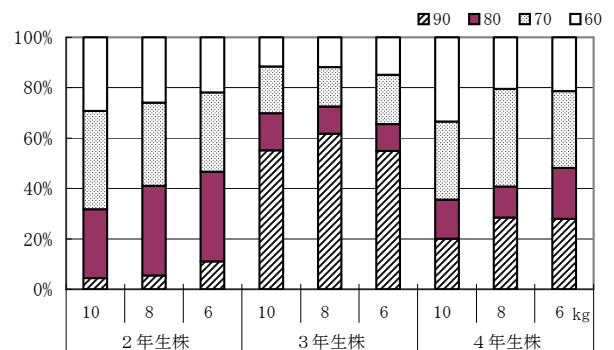


図1 「ふくしまみやび」の草丈と窒素吸収量の推移

表1 窒素施用量と2、3、4年生株の生育

試験年次	区	草丈65cm以上花段3段以上					総茎立数 (本/株)		
		草丈 (cm)	花段数 (段)	側枝数 (本)	茎径 (mm)	茎数 (本/株)			
2009	2年生株	10kg	81.6	5.1	6.2	5.1	10.4	15.0	a
		8kg	83.6	5.2	6.5	5.1	9.7	13.5	ab
		6kg	84.2	5.4	6.6	5.2	9.6	12.8	b
	3年生株	10kg	102.4	5.0	1.1	5.7	15.2	26.9	
		8kg	105.7	5.2	1.2	5.8	14.6	25.6	ns
		6kg	102.5	5.1	1.2	5.8	14.4	24.6	
2010	3年生株	10kg	100.7	5.6	2.6	5.6	14.0	34.7	
		8kg	103.4	5.7	3.4	5.8	14.1	32.4	ns
		6kg	104.5	5.7	3.3	5.7	14.8	36.5	
	4年生株	10kg	97.6	4.1	1.5	5.5	15.5	47.5	
		8kg	106.8	4.4	1.9	5.9	14.7	47.4	ns
		6kg	98.5	4.5	1.8	6.0	13.7	40.3	

* 2009年: 2年生株8月25、26、27日 3年生株9月7、8、9日調査。
* 2010年: 3年生株8月27、30、31日 4年生株8月24、25日調査。
* Tukeyの多重比較法により、異符号間に5%水準で有意差あり。



注1) 規格: 90 (長さ90cm花段5以上) 80 (＃80cm＃5以上)
70 (＃70cm＃4以上) 60 (＃60cm＃3以上)
注2) 地際5cmを残して収穫したと想定(草丈-5cm)
注3) 2年生株:2009、3年生株:2009-2010平均、4年生株:2010

図2 開花時の規格別割合

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成20年度～22年度センター試験成績概要